

六甲山スノーパーク 全面滑走可能！ ～1月24日（土）から第2ゲレンデオープン～

六甲山観光株式会社(本社:神戸市灘区 社長:妹尾昭孝)が運営する六甲山スノーパークでは、1月24日(土)より第2ゲレンデをオープンし、全面滑走可能となります。

1日に約240tの造雪が可能な人工造雪システム(アイスクラッシャーシステム)に加えて、 -2°C 以下の条件下で人工降雪機(スノーファン)を稼働させてゲレンデメイクに努めた結果、1月24日(土)に全面滑走可能となり、リフト全3基を稼働できる体制が整いました。

※天候・ゲレンデコンディションにより内容を一部変更する場合があります。

■現在のゲレンデ状況（1月24日(土) オープン時の予定）

- ◆第1ゲレンデ 積雪100cm／幅40m×長さ260m
- ◆第2ゲレンデ 積雪100cm／幅15m×長さ260m
- ◆スノーランド(雪ゾリ・雪あそび専用ゲレンデ)積雪50cm／幅200m×長さ50m



2026年1月19日 午前8時30分時点のメインゲレンデの様子

造雪機&降雪機の情報はこちら2ページ目に！

■人工造雪システム(アイスクラッシャーシステム)とは？

合計240枚の冷却プレートに水を垂らして氷の板を作り、ホットガスを注入してプレートから氷の板を剥がします。剥がれた氷の板は、スクリューで砕氷機に運ばれるまでに3～4cmのサイズに分断され、最終的に砕氷機で1cm前後の大きさに砕き、雪を作ります。氷の板は2分毎に20枚ずつ作られます。このシステムでは、砕氷機で雪の大きさを調整できるため、天候や気温に適した雪を供給することができます。人工雪は空気圧を利用してパイプを通り、ゲレンデに出雪されていきます。



人工造雪システム 出雪時の過去の様子

■人工降雪機(スノーファン)とは？

スノーファンは、空中に圧縮した空気と霧状の水を吹き上げることで、人工的に雪を造る機械です。一度に多くの水を排出し大量の雪を造ることができるのが特徴です。稼働条件として、気温が-2℃以下であることが必要です。



スノーファン 稼働時の過去の様子

<シーズンごとの第2ゲレンデオープン日表>

	2025—2026 シーズン	2024—2025 シーズン	2023—2024 シーズン	2022—2023 シーズン
第2ゲレンデ オープン日	2026年 1月24日(土)※	2025年 1月11日(土)	2024年 2月3日(土)	2023年 1月8日(日)

※2025—2026シーズンは2026年1月22日(木)午前8時30分時点でのオープン予定日

<この資料に関するお問合せ先>

六甲山スノーパーク
 TEL:078-891-0366 / FAX:078-891-0757
 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-98